

小兒科專門 小原頼之先生校閱
女子高等師範學校教授東基吉先生編著

製本既成

新案 育兒日誌

●子ある家庭には必備の寶典

本書は東先生が從來我國に於ける育兒の完全なる方法の簡便なるが附録兒童身體發育表、小兒の脈搏、體溫、齒牙、睡眠、の如きも至れり盡せりといふべし。子どもある家庭には是れも必備にして又、**出産の祝**品書は最も**適切文明的**なるべし。

注意!

本書の定價は殆んど白紙の代價に等し。白紙の代價を以てして有益無比の本書は購求せらるべきなり

發 兌 元

東京市京橋區南大工町一番地

弘 道 館

(電話本局二八四〇番)

(舶來上等紙摺)
洋裝美本紙數凡そ四百五十頁
定價四十錢(總クローズ) (全一冊)
特製五十錢(香皮洋裝) (全一冊)
郵稅各八錢

●大好評噴々の新刊書●

學習院女學部長 下田歌子女史新著

女子の修養

和裝全一冊
頗ル美本
正價金七拾錢
郵税金八錢



〔廿世紀女子教育の生粹〕
〔新家庭經營整理の寶鑑〕



本書は著者が女子教育の往々形式のみに流れ其の實質を失ふの憾あるを慨き嶄新の學理を緯とし平素の經驗を經としてものせられたるもの文章平易所說懇篤凡そ廿世紀に處する女學生及び閨秀の本分を全ふせんを期するもの須く本書なかる可からざるなり

發 兌 元

東京京橋區南大工町一番地

弘 道 館

電話本局二八四〇番

前付二

りわに店籍書の名有の處る到國全は店捌賣

第五回國內勸業博覽會賞牌及褒狀受領

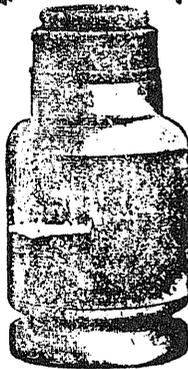
登錄商標



牌標功會評品會二五



THE BEST MADE
SUMIRE
VIOLET PASTE
製煉トツレオイワガ
入器子硝白乳附蓋湯
心好しお禮美壽



錫栓附乳白硝子壺入

●壽美禮おしろい●



ねり製定(大壺
小壺

二十錢) 水製定(大壺
小壺

二十五錢) 價中壺十五錢
小壺五錢

ヅワイオレット水製

すみれ白粉は 歐米諸國に専ら流行する香料及弊店特製の化學的炭水素新成績液體等を以て配劑しあるを以て肌を艶麗ならしめ香馥郁として長時間保續するの性あり『壽美禮白粉』は常に用て御顔肌へを清々しく天然の色白さに至るべし董『おしろい』は芳香馥郁と長く保つが故宴會、祝席、雑踏の場所に臨て衛生上有益無比の逸品なり『壽美禮白粉』は高等優美にして意匠も美妙なれば御進物に最も適當す方今東京横濱に於て上流社會に益々好評を博しつゝ流行せり

西洋 洗滌劑 壽美禮 あらひ粉 の 特性

綠、藍、紅彩蝶番ひ 大袋 入 二 錢
罐詰 六錢五厘 袋 入 壹 錢

●弊舖製造の壽美禮洗粉の義は方今歐米諸國に専ら賞賛する香料及弊舖新製の原料を用ひて處せすものなれば朝夕洗粉を御用ひ給へば能くあかを落し御肌を美しくしなす
●常に髪洗ひに用ひ給へば髪のればりを取り油あか等を生ぜず又半ありハンカチーフ、絹綿等に用ひて能く汚垢を落す總て物を潔白する性あり
●使用法は普通あらひ粉の半分にて能く水又は温湯に溶し又はぬかに混ぜ入浴の際用ふるを良とす

登錄商標 粉 色白なくあるら 粉
SUMIRE
Washing Powder
壽美禮 粉 白 粉



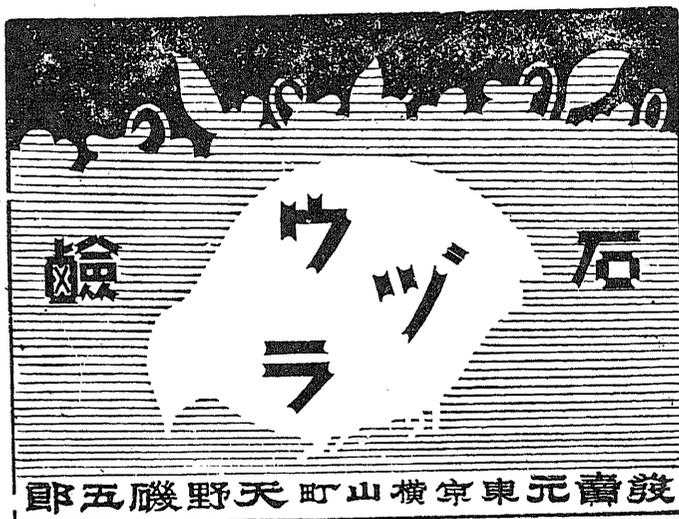
製造本舖

東京 東 兩國 橋 元町 兩 國 際

壽美禮堂謹製

販賣所は全國到る處小間物店化粧品店賣藥店其他各勸工場劇場運動場に有り

質品るな良純



香の香麝るな良佳

會長伯爵夫人丸操子

高等女學講義

毎月二回發行壹ケ半年卒業月謝十四錢束修十三錢

● 皆さん!!! 女でもこれからは學問がなくてはなりません

▼ 本會は近頃の講義録が餘り亂暴な行爲を致します

▼ 本會は全國の教育家の贊助により眞面目なる教育の企圖になつたもので

▼ 本會の講義は皆さんが自宅で獨習の出来るよー工夫をこらして丁寧な講義してあります

▼ 本會卒業生は貸費生其他の特待があります

● 本會に入れば家が居るら、女學校に居ると同様の學力がつきます

見一本冊五廿錢規則進呈 振替貯金口座壹壹壹番

擔任講師

修身	東京高等女學校教諭	市川源三
國語	東京高等師範教諭	吉田彌平
習字	東京高等師範教授	岩田鶴阜
算術	東京高等女學校教諭	生駒萬吉
歴史	東京高等師範教授	稻垣作太郎
同	東京府高等女學校教師	峰岸米藏
同	東京府高等女學校教師	依田豐
圖畫	女子高等師範講師	森白畝
英語	正則英語學校教師	池田夏苗
地理	早稻田中學校教師	小田内通敏
同	本會主幹	牧口常三郎
理科	女子高等師範教諭	竹島茂郎
同	東京府高等女學校教諭	森川勉
家事	高等家政學教授主任	塚本はま子
裁縫	女子高等師範教諭	吉村千鶴子
同	同校訓導	市橋なみ子
茶湯插花	日本女子大學講師	兒島文藏
女子實業	東京弘文學院教師	金太仁作

會學女等高本日大 區川石小市京東 前所役區坂藤安

第三回新學期開始

●會員大募集九月二十日迄の申込入會金全免す、目下入會の好機

▲事情があつて高等女學校に入る事が出来ぬ人の爲めに「女學講義録」を發行し僅に二ヶ年間に高等女學校程度の教育を完全に正則に授けさせん。世間の講義録は乾燥無味で面白味がありません。本會講義録は此點に注意し、諸學科の講義何れも面白く極めて分り易いやうにし、且つ有益なる數十頁の雜録の外に、美しい家庭小説を毎號附録とします

▲本會の講師は皆な斯導専門の大家で且つ教育に充分經驗のある方のみです、講義は只親切と云ふ事を主とし丁寧篤篤に説いてありますから本會々員は親しく講師の膝下に在りて講義を聞かれると同じ事です
▲本會講義録は右に述べし通り最も完全したものであります、會費は極めて少額で都會一ヶ月の遊學費で優に全期を終る事ができます

大日本淑女學會

高等女學校程度
講義録發行

批評一斑

- ▲中央新聞評 講述何れも平易にして親切を極めたれば初學の講習に最も可也
- ▲毎日新聞評 米國の通信教授法を參酌せるもの文字平易説明懇篤を盡くせり
- ▲二六新聞評 高等女學校の全科程を講了すべく各講述者の態度頗る着實なり
- ▲日々新聞評 講義は總べて平易と親切とを勉めて毫も難解の憂なきに似たり
- ▲都新聞評 講義平明用意親切なれば數多き女學雜誌中一領域を拓き得可し
- ▲報知新聞評 講義録多しと雖も實益と趣味と併て有する事斯くの如きは稀也

上掲の批評を御覽にならば本會講義録の眞價が分りにやませう

規則書

端書にて申込われば直に郵送す可し ●東京神田(電話本局)三三四番 大日本淑女學會